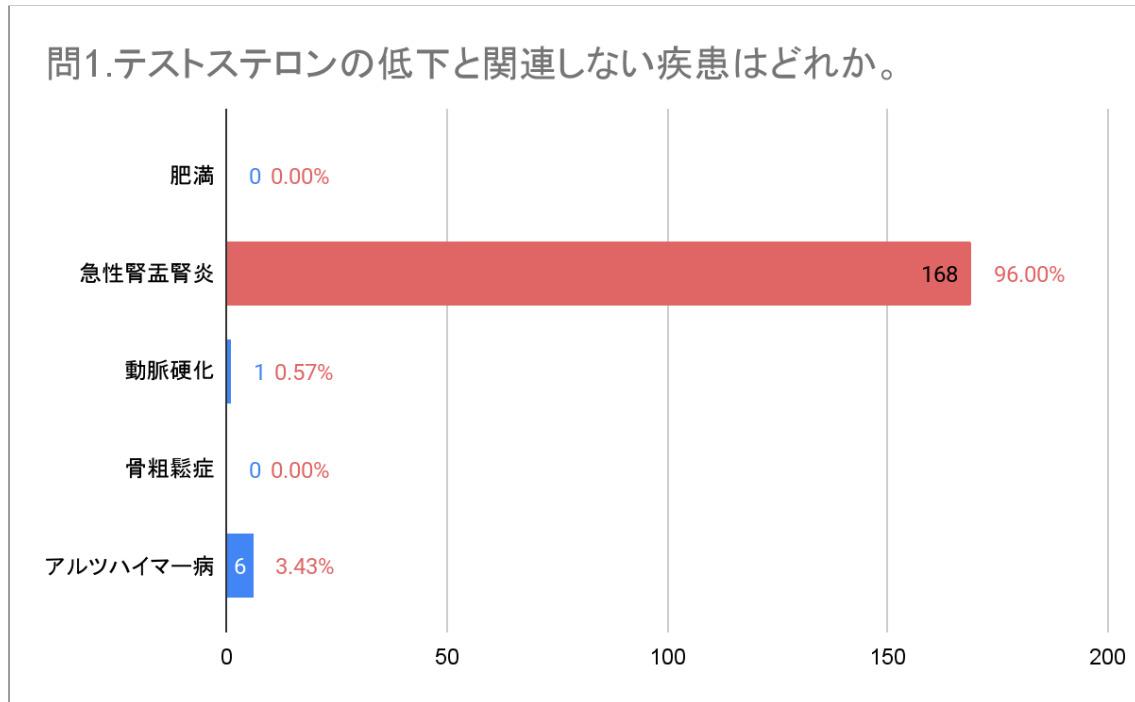


### 第3回テストステロン治療講習会 認定試験結果

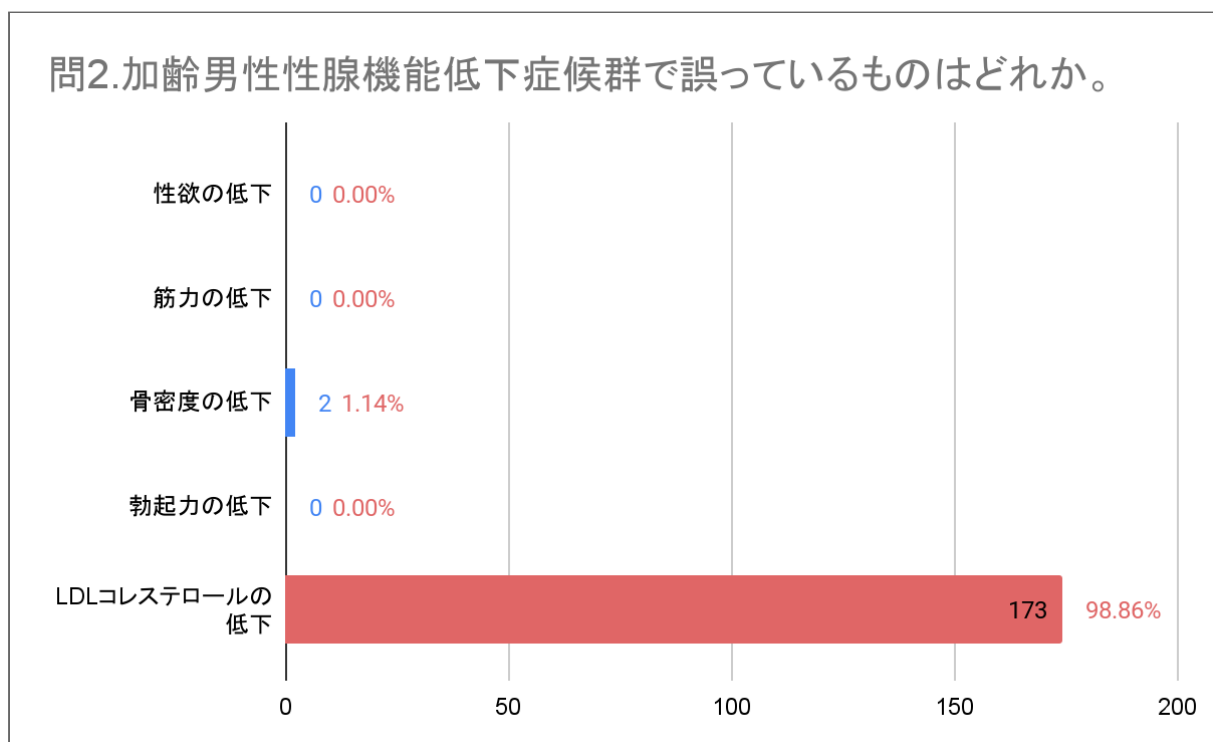
問1.テストステロンの低下と関連しない疾患はどれか。

- 肥満
- 急性腎盂腎炎
- 動脈硬化
- 骨粗鬆症
- アルツハイマー病



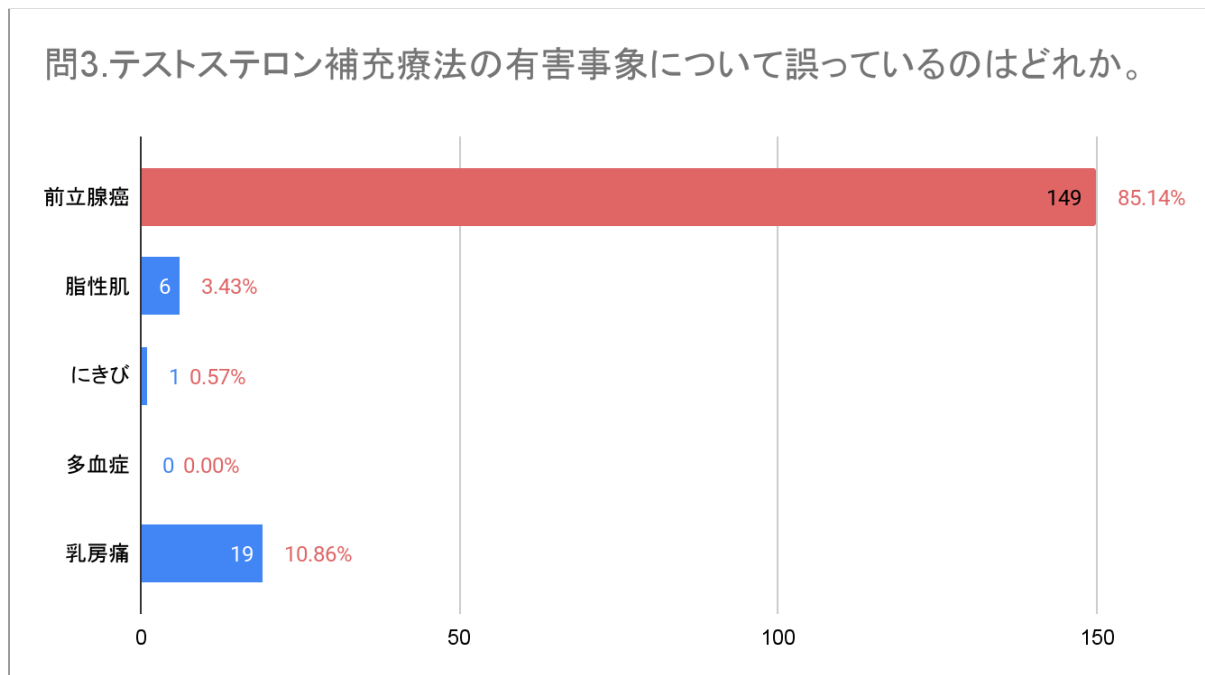
問2.加齢男性性腺機能低下症候群で誤っているものはどれか。

- 性欲の低下
- 筋力の低下
- 骨密度の低下
- 勃起力の低下
- LDLコレステロールの低下



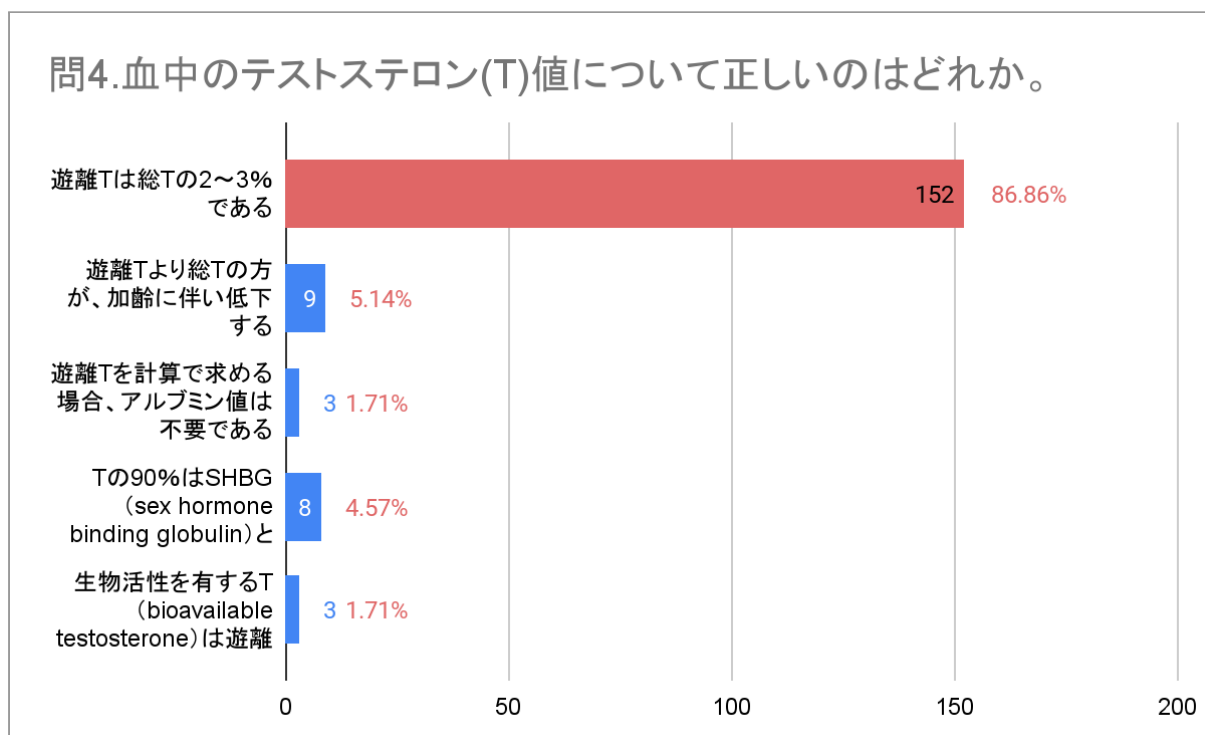
問3.テストステロン補充療法の有害事象について誤っているのはどれか。

- 前立腺癌
- 脂性肌
- にきび
- 多血症
- 乳房痛



問4.血中のテストステロン(T)値について正しいのはどれか。

- 遊離Tは総Tの2~3%である
- 遊離Tより総Tの方が、加齢に伴い低下する
- 遊離Tを計算で求める場合、アルブミン値は不要である
- Tの90%はSHBG (sex hormone binding globulin)と結合している
- 生物活性を有するT (bioavailable testosterone)は遊離Tのみである



問5.肥満および糖尿病患者における性腺機能低下について間違っているのはどれか。

- 減量治療により血中総Tは増加改善する
- 脂肪組織の増加に伴い、血中SHBGは低下する
- 高度肥満者の性腺機能低下では、LHは増加する
- 高度肥満者では総Tだけでなく、遊離Tの低下も認める
- やせた糖尿病患者でも、性腺機能低下を呈する頻度が高い

問5.肥満および糖尿病患者における性腺機能低下について間違っているのはどれか。

